

歴史と伝説に彩られた国境の町に親鸞、弁慶、忠敬、芭蕉の足音がこだまする

泊まち歩きMAP

日本海

室ものがひそむ
ヒスイ海岸
ヒスイテラス
トラ汁街道

芭蕉の句碑

「親不知の香や分け入る右は有磯海」
親不知子不知の難所を越えて越中に入った
芭蕉が詠んだ句が刻まれています。

親鸞聖人の杖擲
船皮をはくとわらひ
説法を行う親鸞聖人の
杖を擲ることができた
といわれるアヤキの
遺跡の跡と呼ばれています。

ゆげの糸めし
糸ありけ
芭蕉句碑

腰かけ石

承元(一一〇)年
の三月、親鸞聖人が
越後へ向かう途中で
この石に腰掛けられ
たとされています。

泊町は親不知の難所と境関所をひかえ
しかも、上街道と下街道の合流点だったので
宿場町として発展しました

1/f ゆらぎ
cafe

泊町が現在地に移転した時、
下町・中町に寺院を集め
門前に月6日の市を設けて
町の発展を図ろうとしました

商店街食べ歩き！
大むら菓子舗「ヒスイ羊かん」
木村菓子店「ラジュウム豆」
菓子処みずしま「チーズケーキ」

宿場町の街並

町指定
妙輪寺のさるすべり

室町街道
脇子八幡宮

朝日大手毬

ほたる交流館
三峯グリーンランド

伊東家・駒峰庵(茶室)

長願寺の菩提樹

タフの木

神田町は昔からの
料亭や置屋・検番などが
軒を連ねる芸妓の町です
明治時代「泊貸座敷免許地」という
県の指定を受けたので
「免許地」とも呼ばれて
いました

越中と越後の国境にあり、
旧北陸道の宿場町として栄えた
泊のまちを、
歴史の面影を訪ねながら
私たちあさひガイドグループが
ご案内いたします

世界最高の
スピーカー
「音楽夢工房」

和最暖
はっさく

サンリーナ
ふるさと美術館
百河豚美術館
まいぶん KAN



【馬場はる】1886(明治19)年～1971(昭和46)年。下新川郡朝日町の小沢家に生まれ、富山市東岩瀬の海運業馬場家に嫁ぐ。若くして夫過世を失ったが、家業を守り、子どもを養育し、社会文化事業に貢献した。大正12年、旧制富山高等学校の設立費を寄付し、本県高等教育の振興に尽くした。
【伊能忠敬】江戸時代全国を歩いて測量し、初めて実測の日本地図「大日本沿海輿地全図」を作りました。朝日町では1803(享和3)年に測量しています。
【伊東家】伊東家は加賀藩の命により、代々、十村役をつとめていました。また八代 伊東彦四郎は「豊新用水」を完成させました。
編集・発行 あさひガイドグループ 2004.4